

第4回 ロハスデザイン大賞 2009 「ヒト」・「モノ」・「コト」 3部門大賞決定のご案内

一般社団法人ロハスクラブ(東京都中央区、代表理事:小黒一三)は、6月5日(金)の世界環境デーに、2009年度の第4回ロハスデザイン大賞/ヒト・モノ・コト 3部門大賞を発表いたしました。

第4回ロハスデザイン大賞では、下記の方法にて各部門上位3点、特別賞1点(合計10点)を認定いたしました。

- ① ロハスクラブ個人メンバー(一般の個人審査員/登録数約13,000名)による応募とロハスクラブの推薦などにより、エントリー候補を募集。
- ② ロハスクラブ個人メンバーによる[第1次審査・投票]とロハスクラブ評議会の[審査]により、エントリー候補197点の中から最終審査候補81点を選定。
- ③ 最終審査は、去る5月21日(木)~24日(日)に新宿御苑にて開催した「第4回ロハスデザイン大賞2009 新宿御苑展」にて実施された[来場者投票(26,303票)]と、ロハスクラブ個人メンバーによる[インターネット投票(34,222票)]を合算した総票数により各部門の大賞を決定。

受賞の結果は下記となります。

記

■第4回ロハスデザイン大賞2009・エントリー/審査概要

エントリー総数	: 197点
最終審査候補数	: 81点
エントリー候補公募期間	: 2009年1月1日(木)~4月21日(火)
最終審査投票期間	: 2009年4月26日(日)~5月31日(日)
	※第4回ロハスデザイン大賞2009 新宿御苑展
	開催期間: 2009年5月21日(木)~24日(日)
	開催場所: 東京・新宿御苑
投票数	: 新宿御苑展/来場者投票総数 26,303票
	ロハスクラブホームページ/個人メンバー投票総数 34,222票
	合計 60,525票

※ロハスクラブホームページの投票は、1名につき各部門3票、合計9票までの投票により実施いたしました。新宿御苑展においては来場者に対して1名9票(各部門3票)の投票券を配布し、最終審査候補81点の展示に対する現地投票を募りました。

■第4回ロハスデザイン大賞2009/3部門大賞・特別賞 受賞者

「ヒト部門大賞」 (ヒト部門投票数20,148票)	
高橋尚子 (元マラソンランナー)	2,006 票
ブレーク・ミコスキー (TOMSシューズデザイナー)	1,353 票
柳生泰益 (家庭用電子・電気機器等修理技術者)	1,317 票
「モノ部門大賞」 (モノ部門投票数21,885票)	
「E-CORE」LED電球 (東芝ライテック)	1,151 票
ヤシノミ洗たくパウダーneo(ネオ) (サラヤ)	1,117 票
ナチュラルクック (ベストアメニティ)	1,105 票
「コト部門大賞」 (コト部門投票数18,492票)	
ウォーター リフィル ステーション (環境向学)	1,554 票
Volvic 1L for 10Lプログラム (ボルヴィック)	1,440 票
フォレストーリー・プロジェクト (バードライフ・アジア、Value Frontier)	1,380 票
「特別賞」	
AIRPod (MDI)	

「ヒト部門大賞」

■高橋尚子（元マラソンランナー）

元マラソンランナー。2000年シドニー五輪金メダル、01年ベルリンで世界記録(当時)樹立。08年10月に引退後、環境活動などに取り組んでいる。

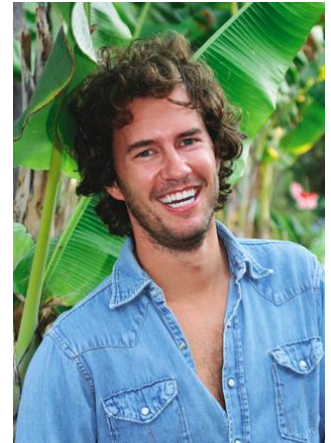
現役引退後、スポーツを通じた環境活動を意欲的に行っている。現在、「世界の子どもたちに笑顔のシューズを」をテーマに、「高橋尚子のスマイルプロジェクト」を展開中。これはサイズの合わなくなったシューズを、アフリカを中心とする途上国の子どもたちに届け、シューズを履くことで破傷風や HIV への感染を防ぎ、子どもたちが笑顔で走り出せるようシューズを届けるプロジェクト。この5月24日にはプロジェクトのランニング・イベントであるケニア・ナイロビで行われた『ソトコト サファリマラソン』に参加。



■ブレイク・ミコスキー（TOMS シューズデザイナー）

靴を買えない子どもの存在を知り、靴会社を起業したアメリカ人。1足売れるごとに、1足を裸足の子どもにプレゼントしている。

アルゼンチンを訪れた際、靴を買えず、裸足で生活する子どもたちを目にし、靴を1足売るときに、貧しい国の子どもたちに1足プレゼントすることを決める。ジュート底にキャンバス地のトップをつけたアルゼンチンの伝統的なサンダルを参考に、オシャレな靴をデザイン。社会に貢献する企業として、TOMSシューズを立ち上げ、2006年はアルゼンチンで1万足、07年は、南アフリカで5万足、08年はエチオピアで3万7000足を配り歩いた。



■柳生泰益（家庭用電子・電気機器等修理技術者）

電気機械器具修理店・柳生電機テクノ代表。
家電を中心に、どんな古い電化製品・外国電化製品でも修理する。

テレビ放送が開始された1950年代、テレビ修理技術の養成所を経た後、外国製品の輸入代理店でガスレンジや家電全般の修理担当として勤務。その後、独立。これまで50年以上にわたり「部品さえ手に入れば直らないものはない」をモットーに、電気機器などの修理にあたる。豊富な国内外の電気機器の知識・技術で、特殊な機器の修理も請け負う。日本の家電の歴史とともに歩み、モノを大切に作る精神を、「修理」という仕事を通して広める。



「モノ部門大賞」

■「E-CORE」LED 電球 (東芝ライテック)

省エネ、長寿命による CO2 削減に力を発揮する LED 電球。
公共施設やオフィスビルをはじめ、今後は一般家庭への普及も期待される。

白熱電球から電球型蛍光灯、そして LED 電球へと進化をとげる照明。省エネによる地球温暖化防止をいち早く進める東芝ライテックでは、「E-CORE」LED 電球シリーズに、一般家庭の照明器具にも付け替えられる「一般電球形 4.3W」を発売。一般電球として普及している大きさ・形状で、電球 40W 形相当の明るさを消費電力 4.3W で実現。寿命も、一般電球の約 40 倍となる 4 万時間を達成している。密閉形器具での使用も可能だ。

●1 万 500 円



■ヤシノミ洗たくパウダーneo(ネオ) (サラヤ)

天然酵母がつくりだす天然洗浄成分<ソホロリピッド>を新発見。
日本初!“いきもの”の力でつくる未来のエコ洗たくパウダー誕生!

アトピーなどの敏感肌で悩む方の低刺激洗たくを実現。水質影響評価済み。合成界面活性剤も石けんも不使用。無香料・無着色、漂白剤・蛍光剤無配合、ドラム式洗たく機にも対応。ローカーボン社会のエコ容器として植物性プラスチック(バイオマスマーク認定)を利用したチャック付き袋と計量スプーンを採用。この売り上げの1%がボルネオの“いきもの”を守る熱帯雨林保全プログラム「ボルネオ保全トラスト」の支援に使われる。

●630 円(900g)



■ナチュラルクック (ベストアメニティ)

原料は国内産のみを使用した発酵調味液。
毎日の食生活にこだわることは、ローカーボンライフの基本!

「体にやさしい おいしい健康」をテーマに、安心安全な食を提供しているベストアメニティが生み出した発酵調味液。日本近海で穫れるイワシで造られた魚醤に、雑穀酵素と焼酎をブレンド。いつもの料理に少量加えるだけで、素材の持つ味を引き出し、料理にうまみとコクを出す、ワンダフルリキッド。化学合成添加物は使用せず、原料は国内産のみだから、フードマイレージも小さく、食生活でのローカーボンを実現できる。

●577 円(120g)



「コト部門大賞」

■ウォーター リフィル ステーション (環境向学)

安全でおいしいRO水(純水)。
大手飲料メーカーも使用するRO水を、水道水から簡単に作り出し、
誰もが使えるシステム。

水処理の専門メーカーである環境向学が、逆浸透膜(RO)技術を利用して、
広がりつつあるシステム。水質浄化の最先端技術で作り出すRO水は、スー
パーの自動販売機・大手飲料メーカーや宅配水の利用でお馴染み。水道を
利用してその場で作るため、PETボトル飲料を買うことなく、マイボトルやマ
イカップを利用して、PET公害の削減や、ウォーターマイレージの低減にも、
簡単に参加できるローカーボンプロジェクトである。



■Volvic 1L for 10L プログラム (ボルヴィック)

ミネラルウォーター「ボルヴィック」がユニセフの活動を支援。
売り上げ1Lにつき10Lの清潔で安全な水がアフリカに生まれる。

世界各国で多彩な社会貢献活動を行うダノングループが、2005年から行っ
ている取り組み。日本では、期間中のボルヴィック商品の売り上げの一部を
ユニセフに寄付することで、ユニセフがアフリカに飲料水を確保するために
新しく井戸をつくる。さらに、10年間にわたるメンテナンスも行われる。これ
により、売り上げ1Lにつき、アフリカで10Lの清潔で安全な水が生み出される
ことになる。08年はマリ共和国において約11億1623万Lにあたる支援が
実現。今年も夏季に実施予定。



■フォレストリー・プロジェクト(バードライフ・アジア、Value Frontier)

「生物多様性の保全」「地球温暖化の緩和」「地域社会への貢献」という
3つの願いをかなえる森林保全・再生プロジェクト。

さまざまな恵みをもたらす、CO₂も吸収する森林の伐採や開発が進んでい
る。その現状を改善するために、バードライフ・アジアとValue Frontierが現
地のNGOや植林地域のコミュニティと協同して運営する「みんなが参加でき
る」仕組み。企業や個人から寄付を募り、生物多様性が豊かで優先的に守
るべき森林を選定し、保全・再生活動を行っている。森林保全はCO₂吸収
量を増やし、温暖化の緩和にも、地球の未来のためのプロジェクトだ。



「特別賞」**■AIRPod (MDI)**

フランス・ニースの MDI 社が開発した、圧縮空気を使ってクルマを走らせるガソリンに頼らない夢のカーボンフリー自動車。

エアスタンドから圧縮空気を注入すると、約 1ℓ分のガソリンに匹敵するエネルギーが生まれる。時速 60km なら、満タンで 100km の連続走行が可能。家庭用コンセントからも内蔵のコンプレッサーで周囲の空気を圧縮できる。使用する電気代は 1km あたり約 0.7 円。完全にカーボンフリーなクルマにするため、MDI 社のギィ・ネーグル社長は川の流れを利用したマイクロタービン発電システムも開発。さらに生産拠点から乗用までの“地産地消”プロジェクトも進めている。

●6000 ユーロ

**<このリリース・取材に関するお問い合わせ>**

一般社団法人口ハスクラブ 宣伝広報室 加藤 弓子
〒104-0045 東京都中央区築地7-12-7 築地FTSビル5F
TEL:03-3524-9757 / 携帯番号:080-2046-4077
FAX:03-3524-9675 / Eメール:y-kato@sotokoto.net